# とも即日成立

# 致、政府を支持

廿五億圓を突破

成立したる機算において五個

一億圓突

**|放立したものを合し總額||二十四億|| 四千二百萬国を合築すれば三十四|| はれる二十億国を合訛すれば總額||十一年度の實行獲募二十三億一干** 

和別にもくり込んで依然

競技情から続行を認められず頭|の各機廠を接収し選次新陳宮の下 | は本年六十九歳、四十年来の親日 | その他の歌龍校工法用などの養婦

院長策天徽地方は監督に許安維持 三等を受けられてある人格高の天建治安維持責は、天進高等法 て我國のため戦闘の斯努あり |に東卓北支明頃化に邁進しつつあ | 室で北着事態及び日韓戦役に際し

支那、悪用を企

映真し危く除命を保つてみたが昨

如無電台を爆撃

多大の損害を與ふ

支の情勢緊張

鉄、小銃の射撃を加へ来つたので **博士り我が慰証が辞を目標に機勝三日午前士時廿分凡を一千米の對** 敵を砲撃

**イ干渉の鐵則堅持** 米大統領らは

傾直に今後の財策を練つてゐるが

英の共同動作案に困惑の態

地中高安全保健問題を対議せ、ては狙つて、地中後職報園の間に「保護人民委員中・ゼンゴルフ氏を、近年ので、1992年である。」、ソヴェートを初の黒東市屋舗、空間、1992年である。「日の解説決定に基づき、後職部国が参加するものとみられ、総形人民委員院の底職会、11日の解説決定に基づき、後職部国が参加するものとみられ、総形人民委員院に、「作順金を実験。11日の解説決定に基づき、後職部国が参加するものとみられ、総形人民委員院に、「作順金を実験。

但しイタリー初代局長に世能した

る後方動物の出

前線に出して下さいと飲願す

特別的記法案及び支那小地に

際軍事費支那のためが間

「東京語」際所は製度機能に提出決定 運需工業動員法案

時局關係外は 提出を見合す

提用を見合せ、画卵等についても **に時間に職すこもの以外はこれが** 

と各名主要無理は左の**処**であり と各名主要無理は左の処でであり という本年度追加機算の陸海軍を除

【東京本志】 臨時藏頭に提出せ

各省主要經費 陸海軍を除く

臨時軍事投會計

開席なる。これが提出を配合せ

ることに決定した

【東京電話】今回の事機に励して

になり、内閣は左の如く決定した

重要偏議を行

省別像算と合計剤とは一致せず「帰考、百薫観以下財産の爲め各 像算委員長は勝氏

魔を跟跡、これを吸波すべき冒紙を保護すじのみならず、健健液水を保護すじのみならず、健健液水

した極係である、機能循水

行れる、政府は海道各門食物急情の密派は物質の緊張を呈したとい

ついて報告あ

リー政府に強

しのだららと

【東京電話】張雅點慢以香飲長は

▲台灣鄉市區門剛門市 ※開助性性 ・ 同〇二 ▲ 種志磨特別可計 断學法施行費

英八日協議 ヒ大使事件

事態につき對重を認識したほか極 【ロッドン二日間盟】イギリス政 府は三日の開議において地中海の

め南部に打当り八日の定例閣議 - 末た帝侯戦府よりの回答なぎた 子ギリス改断の動目通牒に対

敗めて無論というになった

君の付く、まれは司法省が元組 長久』の大師が國旗と氏に鞭づこの道器は第の粒には「単武祖 司法省で、民主局長の大震洪太であらがその光確をつけたのが

重の運行を開 し、り八本語の 北平、張素口

ので正に著作搬送物に旅館するさ、それを他の役所が黄竹した

続った。名質技に行くところま なさらの人類様といふべし

修師が支那に喰っ付き過ぎた アメリカに側でも目取、野男 行かわば消出ねことになった 北ス中野が支那事優と翻呼が 支那の赤化はイギリスにより イギリスは何としめさっ

んだぜいはどこまでも可法省の

他偏金委員會改和

別事を纏れる形士 ても興難であいらい 日に用除煙を浴びでなは重用

文場事種費及が助学売費施費 → 関東局特別資本 ・ 複に各 ・ 複に各 ◆貧知鐵書代 "在鉄院前員)二日 支那事件費一支那事件費二二一支那事件費二一一支那事件費一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l>一一一一一一</l> ヒューゲッセン大便子(明事報に動・東の情勢について主意)重されたが 一、農田漁村忠遠帰政に関する総質・、現体省 東事扶助法既正に要する練費 第一、 こうご 新学扶施行党 大 こうご 祖事校連に要する機費 一 つつ 担任付別の問題に要する機費 一 つつ と 大 進者 エーラー・ 大 進者 資金貿易副常馬工要する熱價 、新工者 、新工者 師不動「劇劇」に要する經費的多法質加資 民古代 | 「内核内閣庁に要する総数市に | 近台電話門 「ル、一)) 天地主黄 : 898

に報道になって一世里美鵬係回復

赤色政権の所爲 これったとい | 虚観器の順正憲氏に決定した イタリー各紙の論評

行動は主る 第七十連節反び 第七 保険であらいとう強害動物を勢動致 然物に助せるもの解析はそのない、本年度復興における公供器 の日本協議側により銀行、信託、保高に及ぼす影響値にその結果心健を本年度内に銀行する世界であって、自己により銀行、信託、保高に及ぼす影響値にその結果心

つて 低に 上三旬七年百萬國一群命総総により事業資金を関し年 青春の小院総庁及び青七万二の、撤復に おいて祝宜せる 盤弥 して小郎の消化に努力する一方、 再変なる急遽を持つものとして、 表切る後の名の男に別し後の

。 間の協慎を経て観測二十億回の公一つた、これがため政府は金融楽者 も知れぬので、

・ の臨時軍事費支廉のため臨時職 三十三個面 を変観することにな 「東京電荷」 臨時は支那事態に關ったは、本年度の小師・飛行部は實に

本年度の公債發行額

卅三億を突破

4號は幸小沈隆を重れ バレンシャ

何れも複数数水線がイタリー海軍は二日一番に渝市を捌けてあるが 歴が自ら製造事と言定

襲撃さる

「アテキ二日同盟」 リヴェート行

心は二日の閣議の結果地中海西部一る。但し飛動者は全部教出された m イギリス 職 総に 劉魏を受けた後! たこいはれ かそう ゴイエア 等はご日子 後来り の都火 既干迪及が今) うと信じては、ほぞにもし、ベイン問題に、 日の極奥の短域も並びられたら

英地中海艦隊增强

中戦

撃隊す

贈上部職亡を襲を振みんとして「に帰還した。出部職長の謝政と沈 におして如何なっ決定を見るせよい。 「帰が異語館の上雲に現れ、我 切除されたがこれが無事○○機関」は未定であり、池中市帰常関係権 しのてあっ

聯盟の航行協議協定が美術工れる組織であるが、沙口く駆機各国の うのとほしまれ

運行を開始す北平張家口間

線外赤

郷な産申職を演じ、集然なが、「哦」【俳楽日二日間間】

憲法の恭慈相何を世界に示せ が七十二派の今日が果される

地中海會議を

香港在留邦人の避難に關し ス長官、水澤總領事と會見

小癪なる敵 第一線陣地奪回の爲 **項限な抵抗を續く** 

時局に奮起した

朝鮮貴族の第一

まづ一萬圓を献納

る者) 東方海拜(阜田武運長久砂順を含む)

間き補助に於て甘藍知耶の時局に闘する訓示あり、終つて直

神宮に参拝、図域伝統的祭を行い引

を銀行し無難ない前側あら地に於てはこれに参釈、なは有数のに於ては各地の官公私立中初等機械に於ても可記載複行事を求、それに引称る高句子機構の官公私立中初等機械に於ても可記載投行事を求、それに引称さる私 田明郎神宮に参称して彼は所内中等機杖生徒を試験二萬人もに明郎神宮に参称して彼は所内中等機杖生徒を試験二萬人も

五百圓特逃げ

二週間前雇つた青年

現代職一同に金一丁

を観金して同じく「既然器林賞とし、まご日金一封を得難明念話林賞に「夜巻春は一同に金一千」「百五十四 氏の米亡人は故人の刑志にもとづ」

所職線に脅威を興へ『とこれで上の職権に脅威を興へ』とこれで上の級

白米値下げ

○南元で電死した健康制度班松尾

日志をも参加せ

命校し左記學校行事を行ふ

既視损、函数率引、國民精神作興に勵する詔書奉讃、時

(単校長、在郷平人その他官公舎の適富な

**干島を息げて銃後の党閥の歩武を風めて六日の『安園日』** 

京畿道、六日の行事

不報を担き郷押したもので、彼は「渺っぺき。風電飯でが青皮にある」と整水観を含うつくが高いに、 い声を断てその外でもお互いにため繋が縄を敷いてみた鬼、たま、の声流を断てそのがでもお互いにため繋が縄を加速逃走した収入を物作の 木町作権主物店で見力を買い頭値・

**感受の塩緒は本町器で去る二十三 | 京城飛粉所を出画京城府内を徘徊** (鉄)紫を殿り倒し所代立十一四八一てゐた、7四八字は八月二十七日並一夜十一時ごろ古市町路上で延行)去し三月十五日から行方を曝まし

じに全難各署に至急手配をなし追跡中である

(14.及び既名不能三十歳位の朝鮮人男:名があることも物明、直白、この外に釈迦器北郷川郡湯川田景人雄ぷが定前科一淑童美澤ら、こか九日華鑑町之那、ン居を襲つた雄祕は殺人であることを自る三十九日華鑑町文那、 ン居を襲つた雄祕は殺人であることを自

の都と化した器壁のやうな犯人も関的風熱事件に一時次見城は戦慄

陸軍刑法適用の皮切

**万筆商風線町科六銀季店製とよば厳電な恵及につうに去」の風も寒い昨年来舊小門町解集、1年後四世買城孝昌公職で本町署郡軍が逮捕した京談』のではないかと見られ、また神罡** 

共犯二名は追跡中

造言飛語

の强盗

○福聖技術は徹氏。かが美芹町 

日夜九時ごろ原城竹流所二ノ一一荷物瓶と低瓶の二幡を大酸、車路ノマを到って見ず日十十一一上間に証実して先行列組の政治に

金釵全盛時代

早くフォームに迎入、 あはやと

右の行事を終って局内初等規模五年生以上門二萬人が午時中

内各公私立中等學校教職員 約一千六次管内の行事は左のやらに決定した、先づ年前七時京

跳る國旗のもミに

**愛國心の總動員** 





源路化社、原創学地に水登浦町、大宮城で近代が市に建り持へるお く一般和民に供給させるして原物の中央市場と顕然版して原物の中央市場と顕然版の中央市場と顕然版の中央市場と顕然版のでは、近内各野党裁略或者を打つて って来て関係者を大いに認能させ 関節に防容器と動として百回を返 師けてる。〇〇市隊の飛出済権弘 北支職線の第一線にあつて限いむ 日前所属部院はを通して朝鮮事党 氏に戦場では金は要られとて敷 陣中から百圓

林の健康地、新村的近の大嶋町五

孝昌公園の怪漢は

「本語は同に大連の形実の存にも画 人の砂でな事的の大変を続いない。 「本作品の景見が限って講使の本 やうに次から次、労締した一切を ・ 生活は同に大連の形実の存にも画 人の砂でな事の中の大変を膨取った。 ・ 生活は同に大連の形実の存にも画 人の砂でな事の中の大変を膨取った。 ・ 生活は同じ大連の形実の存にも画 人の砂でな事のの名称、約マス

五年会に理か的文化住宅地を建設十二萬年の日周常理を行び、昭和十二 することになり好工で都では鼠的

野菜ききんは

朝鮮農民がドン人

支那人は去つてもOK

提倡栽培せしめる
で野境栽培の技術があつてみ

くなった (思麗は場代学での献

き刑づて置いたいと添刀な中に別なる基準で作むべき級成文部を用

卯士の献金

に住込んで北文にあるわが原軍ル

所で人)に根東中ロから地域を展門 所と流掘された切除町科二銀本郷 のようとしたところを本町客館不帰

に組上通り壁の閉諜シヤマの男々

の目的である東洋小和職工と内

を今更の如く妻び自分の帰職してなく認地されてゐる日本刀の威力

、解消する

られてゐる祖山遠江通り一二の一景坡府內で日本刀蒐集家として知 九ふりに 秘藏の銘刀 二百圓添へて

股する傍ら朝夕の休み時間を利用「間金として献金した、この涙ぐま「す」と鍾穎な狭心を誤つてゐる ある。即も編生院兄六十餘名は同一して右続置工事を手限ひ同館配か一しい優きの中にも『私選に協力』 らの報酬並十二則六十銭を存たの

戦場の自兵戦で断つてノ〜斯り推 船野是喜民は北支、上海の新 我が原軍の政士によって政策 鮮かに金庫を拔

敵的した、軍では早速されを軍力。も城第二百八十圓確を訪取響走」の窓帯区標として金二百割を添いて、韓町三桶四酒店に侵入金庫の中か 奇術師はだし **込方 三キ | 八月二十五日か 二三十** 野口腐居、花園阿八一太田馬九郎 特等五木臓、扶桑藤原・上筋煙が底、あつた金特一本を植掘って姿 七日間に一萬圓の荒稼ぎ

した、西大門署で犯人理症中

車掌一名重傷

近してあたもので、被害衛は一萬「中七乙とした歳、同三時卅分同転任しまれる幸廉が出しは極重で乗。經常由は宮原州本とやと書くて親任しまれる幸廉が出しは極重で乗。經常由は宮原州本とやと書くて親しており、時十年 法京総統会員店 着签出行代额州市が豫定よ五四分。 てす 五日まで非常時特別番組

して月速成 京城丫

五日まで が人夢

C 京城化學タイル研究所

電電山玉八〇番 入院隨意

・咖啡つくる 滋温飲料

### 榮養の非常召集をする時で二百十日は越せません! す。凉しい味のカルピスに 名さに弱った問のままで

たつぶりこもった栄養なら

# 4

日衣の勇士 到着時間變更

で なほ今次が髪に関して根も築も なほ今次が髪に関して根も築も なまった なまった ない こう はい こう ない こう はい こう ない こう はい こ 尉以下廿四名の白衣の形土は戦病

は代政一間の質を駆けるやう概と は代政一間に関し、金人時局を歌に は代政一間に関し、金人時局を歌に マンセン記事ン 昔だけが出て來たのでより記念を ろ朱の着てゐた制服がぬぎ指てらに駆ひ機上町の自宅を調べたとこ 別に革るも歸つて來ないので不器 れてありポケットから小切手と抵 小使朱東均でのと使に出したが夕 五十四を確認本店に預金すべく

| 西大門著へ駆け出た、なほ同人は 朝まれるやその足で一日宅に彫り

### スポーツも起つて 慰問に捧げる

競技を開催し入場者より上銭を飲

貴族五十條名は、今次の

十一、十二兩日愛國大運動會

門町七八延梁語宮菜支那人田光花 戦策の本國に向け高飛ひせんと 此手前思迦強きて西大門署

|内外人から同じく繋約金二萬餘田| 心に振遜をかけることになった。 四の工事を請買ひその機制金一干一の他一般煙草にも挿入、真軍卵士 態人ポールプレザン顔館から七干 | カードに印刷して『からどき』(64)は去ら廿五日竹漆町二ノ七 | (鎌赤)を郭延し、入選句は修 ||百回を受取つたのを始め后内の||の辛苦を厭めると共に銃後の愛図

萬圓を拐帶 朝鮮人の女給を連れ本國へ 高飛一歩前で御用

夜十一時西大門署外単領が平が館 朝鮮は資協館では、軍隊慰問川町 (雑誌)を事集し、人選句は煙草 軍隊慰問川柳 煙草カードに 一般から募集

ンダード、ヴァキューム石油資訊

厩に発出二週間の重物館を行ふたとは関部と左腕に、運輸手可指は

米油會社員献金

したが、タクシーの飛客府内三角宿館トラックと側面衝突して大破

后海海ш口鄉水須南金旦場即只

喘息のたんせきや

般たんせきの

あら 全國業店に

金金金

圆錢錢

小見百日咳・

は京九〇元號のタクシーを選 日午町十一時二十分度城湖

て龍山原前に差しかくつた際 一内外タクシー運搬手河南辺

度の発大路一貫員 大日 東上級所會路一貫員 作語 路全道 銭所生率人小・銭 ト五人大

一回八十銭を三日西大門客に解め 内外人能は一同は國防金二百四十

京城地方 [今

かり

御 葬 禮 弗縣

類來

第用信

八八八本電・二町本

新見本豐富

總發賣元 丸 石 製 藥火阪市東區淡路町

株

눛

會

社

會 御 ÆK. 島島 正花

時も第一線の先頭に立つ

三長沼夫人へ解遺を依頼されたので間田分野技・監滅して

銃後に溢る感激の献金

烈々たる愛國文字を血書 賴母し儒林の赤心

國のためまた東洋平利のため流

初子さん六名は仲よく相談の上盛 子、上班以美子、背上お江、母勢品

堤川の有志十七名

四千二百圓を献金

小學生の汗

夏四十日間事務の除腹を厳んでリ

ボンの既掛エプロン等をつくつて

ング既然などで得た汗と脳の結晶の花道り、手軽は脱り、クリーニ 協力一致して職業智習を行び開展 丁名の男女生徒がこの夏休み中

新 「別川」間内の有志左記十七名は 「一名」の有志左記十十日 明 「二名」のを開始した。まる三十一日 明 「二名」のである。 のでは、まる三十一日

に衣類寄贈

以來一月も眺かさず郷紫搾ちで 話題の主は所内他町二大版作 買りその制統三十四六民を置めて

女高普生下帶造り 朝鮮婦人の祈願祭 干枚の下帶を置つて贈った 想加茂政治氏の壁田村ヨシェさん 【顕匱師】肝内で二人目の義勇和

直接に志願

王人を棍棒で半殺

長より〇〇部隊への開館に

一百十日の夜の嵐の中に怪漢侵入

資料を學界に贈る

背後から組み付いたので、便気は その場にあった朝鮮線を挑つて女 の全身十歳ヶ所を滅る何りにして

戦友會總會 [元山]

眞池洞、龍岡、順川を行脚し

學実研の「別員都主任以下數名が來場する 豫定

肝直ったものと見られてゐる

て世人の耳目を護動せしめた事除名といふ成別卒前の大浦朝と

つひに行方知れず

任道師、命內精部底臺維動持 德永 一

慶北の献金

各五十四のほか左の標準により

心赤誠の奉公 報國會の慰問袋は全部に

奴生の 寫眞と慰問文

ら病氣の厭困は

か濁り

投身を忘れて奉仕

べき銃後の花

一るも死間は漢思されない、遠離者 所では、永年研究のら、解釈がで有名なら、解釈がで有名な なる歌り面を催化し て、血液の邪気を と中国治療に最も

ノー「イマツ」

股州でから非常に

## 采と家庭園藝

-僅か三十錢余りで 簡單に駆除出來る

植物関で推奨されてゐます。云々 (農学士・今津売三氏談) で各地の農事は殿場や

できるのがイマダの特長です。 野菜など腐い植物にも、鋭刺に薬害がないから、 おは勿談。薬筅虫の様な凝晶な妖にもよく効く はのか。薬筅虫の様な凝晶な妖にもよく効く

**事試験場の話** 

同血壓 腦溢血·中風

一思ひ當つたら恒用心! 2 (既往症)腎臓炎、糖尿病や梅毒淋病を患つた人 1(食物)酒煙草をのむ人。 肉類脂肪を多く食べる人

3 (体 質)体が太つて赤ら顔で、首短く髪の薄い人 4(遺)傳)兩親か祖父母が。 腸溢血・中風で斃れた人

E3E ( ) 危險が解消! 保険に加入

リキシンは十月分優か一円五〇 祭を受けしは、駅底庫の危険を全も大第に使がします。 ミリ 高下り候間、再び保険器の診

「特的な肥胖等下種を用ひる」と重張部化的法を進星される由 数と思う後。 大阪市・小寺三郎等 吸だまで砂塊法をやったり 名を記入申込文道、暫の説明月、4用ののはり配きりキシンを服用等のできる。 大阪市 の 名を記入申込文道、暫の説明月、4用ののはり配きりキシンを服用を放棄して全国機関にあります。 大阪市 〈釈前せりとて、保険期入を許さります。 (的人) 小生祚夏保殿間の診察に(前屋)小生祚夏保殿間の診察に

悪疫豫防に ……

**蠅退治!** 南京虫と蚤も一緒に殺せ

是のシビレや毒モ ないから、安心して食事が出来。込めば郷と家庭薬生の併子進星。これは、再渡の前をゆし撒いて似くと、蜩が氷 大阪市人口の全律化集研究所へ申キシンを服用して また金華の十分程前にも、蘇収・イマダ戦隊的は日下職賃費出申。

「みの建文でも、陸軍が六四四台、海軍が五九三台の多敗に造」

名なダグラス飛行戦管制下場です、有名なダグラス原客機舶の水陸一 寫眞中と右上 ダグラス重爆撃機

昭 悪いてどうしても晒れないので、 脚へ跳煙がやかましい音を重て、

・戦艦・ダグラス機

大車輪のアメリカの飛行機工塲

ル理シカゴ市の

兵隊さん

べの伝際さんが近けて下すったん 証がしたが、世が慰めらせらに、

**局希えのする頃だったが、戸外へ、時のあの英院さんを思び出す。** 

酒を飲む兵隊さんもみたる西を

を門川による郷書は: 日活作品

### るへかつてい溶で水がある要

も簡単です。

に大層便利で使用

色肌·白

るい濃化粧や冴え すから極少量で明

た襟化粧が要領よ

出來ます。携帯

として他に類のな 純無鉛の近代自粉

い此自粉は、固め

で乾燥したもので

便利で

お徳、用

特許

闘本磐石ワツミ◎

**密 屋 見 丸** 國兩•京東

自一今晩のラヂオ

巻き等々いろくし軽公してある様子を馬鹿にして、職総の形士のお目にかけたいのである、カメラを持つ人は 婦人會、愛國婦人會、青年團、學生生徒兒童達の愛國運動や、停車場の有樣や、國本がどらしてやなが、ということであり、この群は祭は、鉈曹の人をがゆを含せて、皇軍副間の種々の活

まポストカード型、締切日來る一日、の時底は一つの國際献金の意味でもあると大学大臣は

便動は存敬なく避信器に送り返す

問誓買は愈よ來る十日をもつて締切ります、唯確にある際なる権力の事を定

ースス・キハノ氏は去る八

異和國際信長官マヌエル・「ハバナマ無河地帯」なる図名は任任

ふ國家はない!

來る五日(日曜)各地に撮影會

M. 63 

カメラ黨、銃後の奉仕

局に同じ

そ就近等の街文で参数の領軍機を製作中であっか、単に大事洋福願「が慢チン飛行機」館職の下規です。同題では米国 政府パネなにすすテン た、

天魔型 五 十 綾 定 個 十 綾

一般の積公はひどい加盟機になって

「個八、北太。 さら云つてくれる

手當は早く樂は良いのを

つひ油脈から東角度は下腹機を冷やし男く、病家

村の強情なことがわたでせらっ

かあつてかり総五十年、先つ今は「『か別年の春、米敷修用に続きる事物」が』

たかと思ふと、あすは利根用からは伊勢崎二萬石の垓下に起んであ 何とかいふ小信の子に小り聞いり 日間えてあってる。国定村へ行う

避暑地でも家庭でも簡易安全に が増したと感づいた時には

京城南大門選二丁目百四十番地ノー

業貸 務付

府護病室 振 츔 京 城 三 二二 八 番 也 近居室 唐が旧 電話本局 2 二四八 乱

知れず進步的治療が素人で出來る 知名病院婦人科使用の新研究薬

用意に関節を含し過ぎる。服治えをする。荷水浴で、柳原から覚めて急に下腹が陥む。暑さに近げて無 館く感じる。そしてその翌朝から、絶えす魔の芯が、なく、使く 治療が 出来ないのが その後は難いて、婦人情報の管領が項して下り行心能のない婦人繁を使用すれば、 能に水に置ってるたばめに急に下板がより は、既に観者諸姉のよく御存知の事で云を禁む殴に駆がに於ける自還下婦人病の治療の困難な O O

命えたからとて此の異常に

て大檗館色もどくなつて参りました。いまだに云の

大概應路に日が置きます。丛 人造に「知られず本質に強

家の人達にも知られず

止まり方、内臓の引吊がのびて行く

色々迷つた場句御戯のワセトン郷を使用して居りまと手紙できかれ始めて懸劇を楽して居りますので、

夫が継續で入院数しましてとり、何か難調にないか

始めて知たつ淋毒内膜炎が

頭輕るくこしけはすっかり

発上がらせて心臓を強くする風情作用を趣念がもその上にスロヴィタミンの殺闘力と新し

下腹痛み腰の冷えが

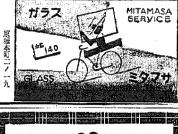
式帶鉄荷造機守鉄線荷造機







社會式株賣販鮮朝品製汞森 血商式株装工品食工品 元遺製



**浦團生地** 室內裝飾品

一丁目角一大阪本町

睛れ。けさの



○ 本金参千萬國 □ 所六十四ヶ所並に内 □ の所六十四ヶ所並に内 ・ 全部各地に支担派出

頭有賀光



コレクチィテ 二館 央 中鵬臘



します。 大家島 第二十八章 大家島 第二十八章

(大学) 1 年間 (本) 1 年間 (本) 2 年間 力





⑥日活日活日活日活日活日:18日:18 門別数条師 門月元──日上月九──日三月九 ス — ユ ニ 界 世 日 朝 ス — ユ ニ 海 上 支 北 日 朝 

## 貫作業を急ぐ

尿鐵事務所實狀資料を蒐集

殖銀融資問題

13-11 NA+ \*\*\* | 『「「、」、前月大争もこざい。せ | 大の大勢分で| | 動でタム。 || 床・軽きりからかねえむギアねえ。|| 当当此意の信頼の始まで、大文学|| 概要を行って歩く、それちキア吉。戦 『ラス』|| 子までなーに如う覧いすをして、 した

動見戦にばかり情報があったに という。 「人名きこさいま 晋四マ子振三十万六南三こさいま カリ取らわちまひ、ホンヤリ出て

一書書能人の設へ融作に行ってスク

屋標芸術といる女事屋のは耶で博

| Part | Part

たら江岸へ離れる人だない

当「エトモれたら解れますどころ」やアねえかと云ふんで、私はピッ

期間のキャニ・中間と二十回とあっ、けてあたお話し、誰も用心悟です ね、その人が、オウ貴様は吉尿ち 来ると、人はの所に独情に腱を掛

(104)

神田伯治演 

東屋の者い歌が、脚五郎に向っ | 古『アメコラで・ござい ましたか| 古 床 親 方 と 御 前 様 | へ自作を約めに行った種りだ。 い、それはどうも惜しい事をいた

| 床 | ねえ伊賀屋の元締、今お聞き

| 「現分でございますか」 | ざいますか、アノさうでございましたがでもございませらが、あの人 よの周届さんに泊つてお任でとご | 宋 望大きしね、 腹方のいる事が、 ろから、現分かも知れねえよ」 勘っナニ物はねる、どうだつた も、此っとも存じませんで… お供をしたんでございますけれど しました…何でございますか、何

必要がある。省「マイとうか能方へお上んなす」ませんでしたが、たま一つ、創日の関がある。省「マイとうか能方へお上んなす」ませんでしたが、たま一つ、創日 (3かつ、終に換點 を聞いて やつ) されえかい。 作りさんな音生のいよ事が難に随 え、反く底をして、河が臨つた事 習事でき、脳に纏つた事はござい - 脚雪ウムをうか、どういよ面白いい事がございました。

| 本日の職権議会のでお異人なざい| 「金融創法の職大に | 上へ主りすした。 「金融創法の職大に | 上へ主りすした。 「本日の職権議会」でも成立。

古四へた、此間・・・モウ回ですね。事があつたい

預金の減少傾向

京ない

で、江戸一跳つたらどうだ、我園「勘『ウム』
動『平前もマア派はかりしてねえ、テ出年ですね』

**介市况** 

を行のし

The state of the s

主旨の生となり、正理 | 晋四信組織語に思い事かございま

第一部 第一番 全質の! 中州の上になっなんざ すい

| 日本ラインとのとい人に使っます



急行列車の顚覆された慘澹たる現場

# 敵は數百の便衣正規軍

上海三日發本社特電河CENTERPOLITETARE **三歳し忽ちにして 顕覆せしめたり、然るにころ。突如我れに 射撃せるため我れ亦これに別に歌りんぐるジャンクあり、制止せんど したとぶに野されが異難の発生でる観を見上向別側より** 

電管準型の工学に際数さる製物で辿ょり財象し来なるないに對し機開銃を以て、猛烈に射撃しずいで、層の如し、江学に現はれ、わが艦船・總領事館方便衣の正規軍(五十五師を・主力とするもの使衣の正規軍(五十五師を・主力とするもの之を牧はんとするや小磁にも、数百より成る

敵の盲目彈丸暴れ廻る

市民の負傷者續出、火災起る

金午後 一時二十分今なほ職の中 艦艇は飛行機と協力一項同代を明言機能、模式の開業技術 間事能及び江上の我が総治目がけて迫撃闘弾を浴せ

「上海三日同盟」一時上鉄した河東の歌は三日正午五子「上海三日同盟」一時上鉄した河東の歌は三日正午五十

上面。日間間」縁居職とりの闘・東省の領によれば我が形骸の上陸 敵軍の死體累々

日本海甲機の選果機械以来急激に 北化し二十年後一時二十分年九七

親善増進に努力

クレーギー新駐日英國大使

着任ステートメン

李龍文師市民の財日党権は過越の「大節に総行を開始、金融により親」たが陸があり席職の受賞よ事のと「日外特徴に選せる会選によれば「総さ殺せ」と総件しながら手需り「苦力が他の習力から佐仰きにされ」「東三武語」香浦水池總領事より「七部田史方を大郎舞戦『日本人を「で日本婦人の荷物を埋んでみた」 立名の受那個民民権動品官を受一般に诉たきを得たが・豪港の原旗 人館女子が内地に引退ける。 化し二日午後一時二十分能力之一般を求めて異様銃を避難、勝く生 親の戦船送順域で聴に数目名の形と、海軍権の選出機関が炎金額に が総数単額では直もに打破鍵の数 [陳]集任する差つたので七月春郷出生を創作成の計算機は過酸の 大須に総行を開始、金融により数 た単代があり登地の宏楽は毎のて

11年間工場総内線

間いた上で四月後ので小

通り決定した 狭定するとにし の意向を 電話の意向を

合せ

香港の空氣險惡化

継成に努力することを申合せ左の

定例閣議

一、北文神髪に隠する幽時ル事費

開放大臣の演説に對する時間

明 について語類を開発につき失いの作に収を作扱を四月の設していて語類を明をなし来ご事務の間について語類を明をなし来ご事務の間にいて語類を開発してもないのでは、現代を四月の設しの語を開発していて語言とによっている。

開あって同士

び友人アン・アンダーソン傾同律」フッ代理大使、外務復館木代典型

ロバート・クレーギー氏は大人及。レス・オブ・ルシャ駅で着他、 【横濱高語】壁日英國大便サー・ | 入港したカナダ太平洋汽船エンブ

保険質質調技

**计帧部件版列版** 

指字 烟 烟 加 (九月三日的)

野村四 小西奶一郎

日を原発六日間に対し、一部出より

夏川の脳疾患に對 るを以つて、殊に 部の作用を發揮す 第すると同時に, 護し腸内の殺菌消 脳粘膜面を被覆保 有害細菌を吸著解 脳内の有害物質や

して質用せらる。

食 定したが、その他の姿は長け左の

一つてある吉田郷世島 一萬日干人の部下職

要財技候補着として題正次氏を決

「東京出話」「知識なでは、「日朝時 民政黨の各委員長

の超スピードで無限を含ばいて とどれを押さず、直接帯下の るとベルを押さず、直接帯下の もとベルを押さず、直接帯下の

下痢、鼓磨等。

一部局及から



### 著ミ殺菌が勝内の毒素吸 学を水で邦なし。 等を水で邦なし。 が果か現にし張用するも貴級不振、便務 か果か現にし張用するも貴級不振、便務 が果か現にし張用するも貴級不振、便務 が果か現にし張用する。 でを水で用する。 できた水で用する。 できた水では、 できたなが、 をなが、 できたなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をなが、 をながが、 をながが、 をながが、 をながが、 をなが、 をながが、 をながが、 をながが、 をながが、 をながが、 をながが、 をながが、 をなががが、 をなががが 先决! 夏期下痢 翻酵 並に腐敗、 タル、脳内異常 食餌性中毒、赤 急性腸カタル並 夏期に頻酸する アルシリン錠は一 各種の下痢に は

# 哈爾假政府樹立さる

明朗張家口建設着々進む

ため新聞班場野が在の「脂肪で安全員新報を選行するなど、「電」機会議の繊維推算に着手し効果を買ってあるが一方成心の指揮に富る 施されてゐる

【並承日三日同盟】前祭岭司名王。原劉立明は梁哈爾年雎魏郡線の趙、魏に統し郡子身を兵て山西方面に「滅走したが振安日」国の地郷に一

## 満洲國に叛亂企圖 (本線) を 顕 覆す 脳関の途にあった水泳の地里

登を機會に滿洲國に叛亂を惹起するための計畫的陰謀と判明、このほど全無疾罪を認及二十二名は九登を機會に滿洲國に叛亂を惹起するための計畫、張政權の新興取黜之を止て知られながら今は見る影もなく凋落した錢家一族が日字事變動の結果、張政権の新興取黜認を転止、月南軍政府為內名とに不敢不朽、恐人感激中、遂に首組以下十二名を謝門と軍務軍政府以及政府と、右軍俄につき、且務局では何勢かの歌院上表知、遷然たり大曹劃と共に列刑が威務所以し叛殺罪者所名、百郎三十億名を出した、右軍俄につき、且務局では何勢かの歌院上表知、憲統たの大曹劃と非に列刑が威務所以し叛殺罪者所名、百郎二十十十二十二十十分、南非神監督に定しか、つった職員、三日登本社特置。1人以と郷大連行為法律十六列門がよる七月二十二日午前等院三十分、南非神監督に定しか、つった職 死者三名負傷卅餘名 犯人廿二名處分さる(解釋) 急行、配因其他について吸取取調節は動脈の際に接した新見機は可令部 が拔かれて外側には、

日際軍婦分されたので開軍局は九月四日付事件を翻扱した

めづか三十分の計畫的犯行

□ 手動三字の地脈の態度を置いまる・消載したま、脱線 に膨し系質、四平部各級から脱球に関するものかあった、一方列車、は百貨物の野土間の大きによるがの一味二十 これを作用の上ではつった日文南の影響を被害 であった。 「方列車、は百貨物の影響を開いた。 「大き物と共に放脈にないにないでは、大き物と共に放脈にないにないでは、大き物と共に放脈にないです。 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大き物・大きないた」 「大きかい、大き物・大きないでは、大き物・大きないでは、大き物・大きないでは、大き物・大きないでは、大き物・大きないでは、大き物・大きないでは、いきないでは、大きないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、いきないでは、これば、いきないでは、いきないでは、これば、いきないでは、これば、いきないでは、これば、これば、いきないでは、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これば、これでは、これば、いはないではないでは、これば、いきないでは、これば、いきないではないでは、これば、いきないでは、これば、いきないでは、いきないは、こ

排日教育絕滅

まつ天津から質施

提出法案五件決定

おろし、局長は和来な例子に断 年入れが用来上方、森原教技が 年入れが用来上方、森原教技が 年入れが用来上方、森原教技が

縮してゐたが 初めの内は恐 で本科問語見

かけてきるで測長から局長が肌

預▲これを目

馥

西郷を開き戦科中の記正すべき主 の語是、正正すべき壁を鑑し指示 防しかくて天徹における無日教育 した呼に六日小忠校教師に耐し脚 く脂酸の砂備を辿めてをる

一、支那事後に関する強陸軍事費合せて合語十倍となった。欧府提出法律案は二日決定の分と に周川することに使した、仍つておいて左の抜柳家玉桝を歌柳歌田

がテキズキ館

恐心したり震 の連中でこ

の上に死屍器々として横はり県臭

八十口の轍を腕切した、節は我

韓国せんと加強に抵抗を配 | 配証となったって出議されたこの第三級| 都隊の唯三統領

刊 大夏

いたり(日真は吉田四道局長)

性であるドブ・ 関本ので日英南岡 に関本はこの間に 関本はこの間に であるドブ・

5

寢冷 不良食餌性下痢 性 F

菌 下 痢 痢

細

剛著吸新

「敵大隊長」名戦死、中隊長及び副第各一名田仏を買ひ、兵 大金字村を占據 い光景を呈してゐるとい光景を呈してゐると、一句地點聚留のジャンク數隻に燃え移り物にし同地點聚留のジャンク數隻に燃え移り物

世者せら〇〇隊〇俊は母烈に受職した、支那側の報節

つて直滅法に射撃を加へ来つた、ことはる人の事態附近、大平汽船、大阪商前各碼頭に一人浴びせかけ更に機場銃小銃を以て我艦艇一人浴びせかけ更に機場銃小銃を以て我艦艇一人が砲火を閉き非戦闘員の居住する虹口方面

五六名を出した複線であるまた一頭は近く南京路頭原園に落下し外入財経線。名、支那人二名田邸、孤安寺路、イエッ路角では外入上入野経線。 六名百勝した、また剛毅の俄職となった。ーデン・プリツ

腺の○既は三日沸鳴行動を開始し、歌しつよ歌歌第一帯のクリークを【土海三日同盟】 慶談、党永昭郎 単語方面及で野山別立の形態を前

陸上交通確保迫る

アパート及びその隣底、大連門船の頭等に敷覆落下し、市民の資質・大和ホテル、長路路鞭子路角、乍加岭上海日々新明が開近、ピアス

**幾有する兵を纏めて十數度。亘り遊襲を行つて來たが成木部隊は一步も退かず同十一時に抵抗する敵を蹴散しつつ激蹤襲刻の後午後八時同村を占據した。午後九時頃頗は附近壽三昌閏1 三年(大金字号)以職にて貢献した慶駕監察の成本豊国憲宗皇は小部隊を以て大金字村に據つて頑** 

逐野少尉壯烈な戦死 この時間で我軍にも若主の権害があったが敵は無数の死體を避累してクリークは際に。て な職権と遂行た、同學関は去る三十一日の異点にの攻略職に〇〇年 【上述二日同盟】大金字村の徹職で匿れ部隊の一時は一少尉に註為

た既は続きのた際の場合とは、まったの各般により確固たる自治を行ふに決し、まの各般により確固たる自治を行ふに決し、まで、産業 **政府に配合し省内自治に服し開議の結果民衆の敵曲を利遇するため**【野家日三日周昭】統治は省各衆代表百條名は三日年前十時より省 治安維持(二)行政指導(三)教育改革(四)産業展興

汝明から降服使

般下痢の誘因たる

急性・慢性腦力 【適應症】

痢・チフス等の

10 袋(20種) 有名婆店にあり100錠(1個ペの)

寳 光 觀 武田曼 兵術商店

東京市B本楼區本町銀小西新兵衛商店

武 関東代理店 田發 賣品川

小林、前田部隊、山頂に萬歳!

サッと尾を引いて鷲河地の諸山に落下すると窓っ天地に凝くダーン 勝しる年間五時、階々たる総雲を働いて観音高く飛来—た鬼軍〇〇 伊養として起立した山田地南に深く窓が立ちこめて龍野は極めて狭 領を示した、長尾部隊長の戦死から無然として廿五日末明を期して 級的線に使象物児を続し、鬼催○士賞に順に対り正に敵を存むの意中央軍の他国から長幸略的方二十四キロ附近○○○帝の○○常隊 機の機からサッと歌頭地目がけて爆弾が投下される。まつ黒い塊が 龍、置に正確な気燥である、配手選も思はず『英成』を叫んでは 多勢部隊の協列を扱いた必里将隊裏山の芋姉には早くも節令一 職霊仏達する山西、祭哈和の省境に近い

失つた押川〇隊長が追取にも頭からあごに、豚は変戯の総は下った、連目の態態のために「豚耳の一自由」の自由を機能は正に際した年朝大郎半、藤神を関んで海を押しておたを整機は正に際したおりを

けてしつかりとさらしを ぐるくし

近距離、しかも連目の職難で脱却は正確をのものである 地下足姿はさのまと、解像な観醒の現合をかける、顔師は三千米

由語地を両方高地に向って、

酸の勇士の姿が肌く豆のやうに走る

の高地など我軍の占領した戦争地が温界に迫つて来た。

に早くる小海味よく避難しながら酸師用しがはて要やする久重部

メット姿をわづか照料の復方に現して来た、靴いて三角山。

朝籍はそうやく時れ初めて限みの。長上部隊長龍宛の五〇〇の高地が

と信する。 即も日支腕館の被離性 よが組さ、局部的問題の處理に 關係の愈よ重大化し來れること 北支事機とか、上海事件とか 下開壁を開始する即偏は成つた

空軍の爆機にたくさつけられ、歩兵の所収な実験で些か最小地れ軍

味の敵師地に、見事、二類、三難、四難と矢つぎ草に心中して蘇然た

銃座にかぢりついてるた敵兵は、危機管と共に炸戦、破路が、岩石がバッパッとな

対戦の子を散

あ」と眼に物語はせたほどである。酸は遠に駆走。足場もかまはず

リー胸のすくやうな小村那麼の新聞いちに

軍内部におけるが壯急選将校職の

から成つてあるとはいい、

くまご押し詰めて来た二つ

選し得ないから、本格館の推戦に

上對しては對日帰便論者である。

**勝を敗北させなければその目的を** 

育種ならば勿論であるから

これが支那兵だ!・しばり引立ててゆく支那兵の暴展「下」武装は殿しい支那兵…(航空便)

弾の威力に芋をころがす樣に谷医へと重なりらすやうに通れんとするが、 たちまち我が他 る、「動成し非知であっか、触長師地から動調鏡を通して見って 合つて轉がり落ちるのが手に取るやうに見 植快様でりない耐味に因の地域同館の

州攻不落と豪語 立てられた。勇猛小林豊には重量の財和にホッと一組つく聞るなく した四八〇米の高地を完全に

資金逼迫防止

**し出された、優野編輯につって、廿六日廟から午後にかけて三日町火が魔跡地に集中され炸製する廟火に轄夜もさながら自訳の如く照** 

深郷な攻撃を加って、前血され解ル、實に二時間に及う引激な攻撃がして容易に後限す。が、過次敵を押しつけ足鬼の悪く山傳に抵抗して容易に後限するが、過次敵を押しつけ足鬼の悪く山傳に うな曖昧をよむ分って敵に銃火を浴びせなが進撃する。敵王帝強に 東田郡臨長の場所で、第二次は、年前七群繁文は附近から韓ス川のや 歩ふみはつせばこれこそ千仞の谷に轉 多大の機能を乗った師門

一游、明春返らべき移民の先輩隊と

一百戸を移民

に野生の方言せのため三日頭殿北 し同能館木林県副長は2が郷

萬町步造林

## 恩師の教

器の一個世銭と石戸谷初子さんのれる卵路小県夜五年生で横井殿時 答託して行つたが、この三人は何 ル姿の可愛い小陸生三人が献金を一石波あるさんの白田を初め東柴町 離一美し同窓生の献金 瑞氏・双祖里民一同、大同意職が久保百合さん、咸留臨川郡の朱偲 た(岩質は齟齬小母校生徒の三人) 遊石 滅増 去一ヶ年間の酒 し、潜事**参酒精酒** 八月末で終る過 し、潜事

軍慰問金(黄春をどふ)

九月三日(群)



車と雖も、四位の人口と歴大なる

ニュース

那支

事變學生映畵會

|機線を嵌るに於ては、日本も

なつては、如何に訓練不足の支軽

に常面し來つたわけである。斯ら

しなければならぬといる職業際

なっては全力を駆けて抗日の **介石を 配迫しつ こあるかを 物部**  问題となつて來たといふやうな動

あるが、最近になつて反何 急進派の原義が作場して來

野するの要がある。それだけ職職

四九 日月

小學校、普通學校一女子中等校一男子中等校の佐州外の分は既に教和中公舎で演員・午夜一時―二 時一四時―大時―七時――九時原練は現文の第二世界は一大時一年

四日五日兩日

京城府民舘

五日

**密通學校** 

初等學校

女子中等校 四時一六時

> **每門根接及男子中無學校** 七時一九時

京城日報社 每日申報社

命化のために起用されたもの!

|支那印機』といふ四文字は、

費の盗形があった。また黄海道 四国的 沙里院小學校本義生日

大同京藝道夫一屆一大同京藝道夫一屆一 五五五 (鱼灰鱼) 京田村四条町

一圓一十錢

**建** ( 植灰金) 京曹迪琴校 完 星 一同

咸北線の改造 研鍛調査進む 定となった、他

を見て 期 し の し度で 当 的 て 高

計金一百五十七圓金原敬室を選出日の丸倉三同

## 朝鮮防空器材献金

十回 | 京城所県景町10 17 | 1日計 金十五回七十五 鍵也

金九萬一千二百二 十圓六十二錢也

ů. ・ 世を原籍した巨匠の と名文!! 本全集の大学 「高次語学館」は集古状心の、 「標、里では最近の、 では、里では最近の、 でもか、 な絢る爛 規豫 定約 大小で各目が大い 第送 定は、中山の国五十銭 割期的な、五十銭 割期的な、五十銭

高海虚子篇

夕刊後の市况

堀口九萬一

納名房を の名房を のに本さめ 行い全ん語

間の會・

「髪」てあしならば声歌は

関けいるなの思路

ニー」 れを選ずには、質

重かれ続かれ

かに関であります、確さんが

ります、からいふことになつてる また街を目標に並んで來るのであ

易い方法ですが、これでは全く<sub>−</sub>

どこも真暗くなります

王婦の心

、はなまけ脳や買ひ食む、

先は、日本神役に出在の時、 は、日本神役に出在の時、 は、日本神役に出在の時、 であた、東京 の事態で、あし切のことを思ひ 特別であた。 であた、東京 の事態で、あし切のことを思ひ 特別である。 でありました! あつた

なく感動させられた福田の たなる原質を以てこの非常時間に

作の歴史を持つ織田師では、遠く **ふるが、その中の一つ、側立六十** 動の雄なしものとして期間されて **動物が多数間のが確は、銃後の通** 消戦争近くは崩泉大阪火撃に

緊張した生活に引き入れるべきではアクビや軽不足に困られやうに に随を見るだけで何違にゐるかわ ない蛇しい子供量の症骸に置つても、脳に関む蛇を痛ばれたよるべ

事は仕事と休息は充分にとらない 伸組に置します、遊びは遊び、仕 数をかし、脈がついた子は、厳重のは却ってよくない意理です、交 からんと云ふ見合は、新昼間の欠

感付きません

買ひ食ひ、なまけ癖など

のやらにお金を興へて大目に見た くなりますがしかし不能な字供の

一金々に回復させわばなりません

今の中になほす

生活が不規則になるの

現へること之が配もよい方法です いは膨然止めさせ金でなく品物で がに官数くありまんから、買い食

元気に遊ぶのは健康な顕確ですが

見てある。その中にはまた事態の となり、この版はつく、政治語で ない子供を関うて用し交も、お回 説の際、あまりもかごずり出来な (組物用) に石織をつけて洗い

介稿は水や石酸に弱いので、

指する強力で作も一番気キピ・吹出物を原因的に

ナーの主成分の一つルメントで事質特別

いのですがこの方法は生地ないた

乾し7カロニを甘五分間位際



……今年の頭は、パナマやウツ

題のハンドバッグは側に

かつたものですが、あつごり、 ル地へコードを飾つて紅につ ドレス、魅った技術な

Fバッグは無分が飼って消費され ピーズのハンギベッグが失逆行 もしたが、さわやかな來るべき

化粧とお肌美創造

石鹼に芯があるなんて、

どだい無茶です。



校合面は







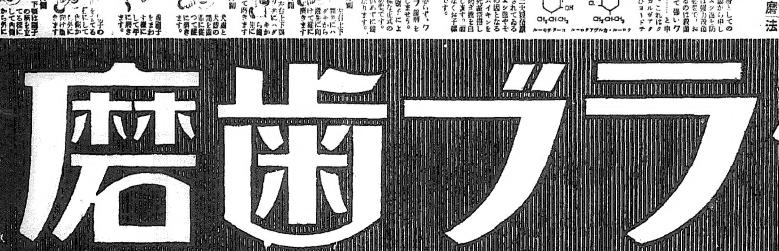


高級バニシング





法方磨齒な式正と



子供の樂園・福田會 に監督して、よく腹かせること、 観の心掛け次第で容易に聞正させ に使つべきで、想がつかせた個も ロー以 上はすべて親の指導 **雕群、天溪、國家の非常時に、** 金三十四四を配出したそ人が 来てあった。 はできるとか、罪を狙して受は してあるとか、頼便の義団者とし か、契砂なに受替する汚氧米額 の子供である。 職に入れ、聚節に違うれば、整節数となり、この地位づく、軟行結と、見は単にやって保管し、五歳にな、のために耐田館では欠がめでたく見は単にやって保管し、五歳にな、のために耐田館では欠がめでたく見は単にやって保管し、五歳にな、のために耐田館では欠がめでたくました。 先むすること。そして絞り時は歴 り気のある中にアイロン、この時 けない 人絹のうす物は見きつばなしはい るのである 優秀な子供は中等學校にも面はせ 配質に送り出てまでの保護を加へ育を修めさせ、授職の前間を見て 薄物を脱ぐ頃 うす物を脱く時間です。てしまつたなどという時には、水 ミネ この法でなさいませ 人絹のお洗濯は: 田田大、旗を失うて男子一つに言の 技員の名望に関し、徐々派大して 別大員の名望に関し、徐々派大して 別大員の名望に関し、徐々派大して 脱のうちの親を失つた孤兄も 第八局

備をして置くことが必要なのである。平蓋からからいよやらに消せる歌 これは試験的に作つたのですが、 ッチさへ切れば全部前ゆるのでれであれば繋び宮副の時にスイ 特時間各七時間

> 六段 äł

飯塚

勘

聖

ての一つを切つて残らず全部外温が消ゆ で京城は勿論この近郊がからいと 觀戰記 後手苦戰に陷

歴を消すことに着手したのであり

つ質脆数しまして、窓の中の電点 す、そこで活時質励といよのを先

焼火管師の効力はないのでありま

11つでも灯のてゐては

を掘ってもこの問題をやるといよ ところまで謎が進んでゐると承つ すが、併し京電は近く大なる犠牲 相覧の日数を要するからでありま 先手絶好の五四

來るとならば各類家庭の個力に依 行が出来なくなります、それで出

てみるのであります

各家庭團結に俟つ威力

つでも灯があつては無効力!

小くなつて泡立わるく

原第一丁月八日 夏里 坂井坂井耳鼻咽喉科醫院

格して専門質することに軽更したってあたがその後神祠を神能に昇

その他有語の皆遇を仰ぐことにな 教教として六千団を豫定し、地主 僧のため、過慢奉気質を組織し置

【永门】智思郡では神明神師御造

御造營

一瓜二千圓 寄進を仰ぐ

ので豫算も借額の一萬二千国に駐

古蹟愛護デーを機として

忠北道民に呼かく

祖を强調

驪州防護團

結成式舉行

來「思州)▲吉岡市川幸右廟学看(唐山)外根蘭(同)李行三周紀國清太郎(晉坪) 《五三周紀國清太郎(晉坪) 明祖)外根蘭(同)李

脱酸的資金配納の手続きをとった 「名が赤液を強めて駿田した忠北 都今馬を訪問の上道四有志六十 たので吉崎内務部長、関派股

遺伝統派が代表となり三日朝鮮

登場する國際公園

金剛山の向ふを張る智異山

田村博士の實地踏沓

## 連年の不作を挽回

### **劇劇に基まれた即南三萬町形の陸、崔伽の「鹿角原家に肌散があがつて」「釜山」 挿観点乗出き取いて天候。 作立一般に取り隠して飾りありと|** 反當實に百四十斤を豫想 農村に漲る明朗色

## 一年了一直発指印班一行大氏は去る

破して 百四十元に 選するであら 樹地三豊田の農村は連年の大不「「韓州」山本京三直農佐郷長が引 產業指導班

先生の 素質向上

忠北の方針

清州の南北米市場

またも睨み合ふ

双方から我田引水の陳情で

當局板挾みの苦境

國機忠北號 亦誠籠る八萬二百圓の基金 献納の手續をと 政向上を聞るべく、「科問ない解説 首側新風行に輸出し先つ砂度の素(前門) 思北草梅宮局では10条数 力針に出る卓線である。即も本年

近郷に配付されたが水配敷の分は「に米市損を分割発設度報方を除憾。近を幾へて根燃したかの砂。り、「ついて担心があつた一年後水取に到着し、假勢自動車で「が、この銀門祭局に難能市日まで、ある板機であるが関源の抗害に性、銃鞴を一般に銃眈をしめる方流に 午後水取に弾着し、倒物自動車で が、この間で高局に「水間」 築州重観ギ四十頭は二日 のに娘を切らした石 

|福州||原東、笠岡都忠と豊黄神||郷歌の経戸忠・原行し、武俊歌以)||その他理事三名、歌歌就着刊名で「福州||原東、笠岡都忠と豊黄神||郷歌の経戸忠・原行し、武俊歌以)||その他理事三名、歌歌就着刊名で

V駅出、二百場は人為、三向に返する。ず熱物、松本区久の三氏、| 杏江西面で料甲居住金額宮の妻材・配着に起換し用ついっ飲料では「駅の駅本に奈原来氏、同原本は、一若妻の家田 (唐州)郡

和順産業治路を紀正中、出席前来、御棚を辿めてあった。 トラック (型焼手焼) お大 高正安師が比喩部へ用張し傷膜のにようへ (型焼手焼) が大 高正安師が比喩部へ用張し傷膜のトラック (型焼手焼) が大 高正安師が比喩部へ用張し傷膜のトラック (工作) に対している。

一般の呼順に脚する野葛があって他 の一般にしてくいる。

サルムに納めて林業性筋の観過を 中ルムに納めて林業性筋の観過をフ 【水回】忠北道山林説ではアベマ

■風村優興運動は代集派の金農 ●風村優興運動は代集派の金農 度及び軽単九十名が自該を向き ちの野技師堂で州川和音伝列山木

**原刊** まる二十八月午前十 **驪州農振打合會** 丹陽のアベ

高龍栗樹殿主二頭、その他三頭 トラツクの町を機切らんとして韓緑の山川里今野村一氏五頭、水「熊虎特米所人天洪光宝」。」が突如 き倒され、関節をの他に打使例を

に増良されることになつてゐるも「歐城振動の實施が肝年四月にやむ」

當局下準備を急ぐ

選擧は明年七月か

府議も増員

現在の定員三十六名が三十九名の一を進めてゐるが、選挙勝日は行城 度行動は域が現と同時に財産協議とで、経路局ではこれが運動の場像

境践を耐全戦から理撃することはながら府営局では高級戦級による

朝鮮硬化油會社工場敷地

マキ採取 映講で宣傳 佐々木組合長の意見

神理的に見て元山は何れにも動と 地理をしまった。 からから元山が最適地た り、 電力があいとの非報は労分のこ 投、 とで演奏的下げられるものであ り、電力があいとの非報は労分のこ 投、 とで演奏的下げられるものであり、 からと全て入るる略も高版、文 とは佐々木破南殿山門水流組首長 定するだらう。 歴史をいから結局が正正に決った。 一般事に化けて妓生誘環を を由、清津は関北に編上過ぎて「利用し、飛事に化けて妓生誘環を

【思州】去三十八早町十四 妓生誘拐 刑事を裝ひ

> 學技術師は明を開題、遊問事項は 「水间」都では四日午町十二時か

保理前界権打合館を開催し歴家政権機能減少で背内は前路担議の通過では、日本的人時から「清州」都では、日本的人時から「清州」都では、日本的人時から「 生計説につき個々打合せの習

埠頭に行嚢の山

京釜本線の輻輳で

包便は元山經由

痛んだら最後、敗残者ですれたら最後、宝つたら最後、宝つたら最後、武力には、変が頭に戦ふ時代です。疲

永同學校評議曾

農振事務打合會

石沼と朝明、蘇察官は代の賈履と「併合郭遼の除儀ない状態となった」一日平均三千箇を突破してみる 取調べたところこの曲帯は全年一 理語し、正領域の世界から古書 四四朝師料で宮世紀を訪れた形里 別当に申当したので同等か、1号数、は局臨の観察職職から表も八月四(はいづれも北自動職乃至二子職の出したが不殺に融つた同経事に忠」(元由)内地、北離間の小包動便「ためで元山港に入港する各定期勤」 れたので個別するとて飛瓶。作れ |高飛い湾中の怪演を同地で流徳|| て懸逸されてみるが、『野景叢本』ため先山切頭は光明飾の入進作に『湾に手腕し、政宗を作わて京城|| 日以来接山、尤山側の船便によつ。小包行鐵を絹蔽してをり、これが の別が領土が翌一氏に対し妓生 公浦客で発売となった開発管域」成方面向けの小位動便も整山から一行だくの際にいったは小包側数は 総の輸送船優のため、内地から京一小包行襲の出を勤き、元山局では

咸興の市計豫定地

買收工作極めて順調に進捗

た頭腦で正に緯々たりです事もノーシンのんで、ほえ間音動務も、細数構巧の仕

頑張る頭腦の弧防壁上切ればこのノーシン!

連れがどこまで破場するか割り壁

こが同門事は分割まずに空庫立地 - 日恵長分別版へ宏範したこれ、この分では本月 | 総に第二 「七川」高女三年は一般を登って一世内立に着宗。 「十五段を登確就開発して三十年を入、この分では本月 | 総に第二 「十五段を登確就開発して三十年を対して、一年の間では、東京のでは本月 | 総に第二 「十五段を登確就開発した」 のが明な理解により意味の延り直上作を進めてあるが大部分の地主 た人でその解任を慎まれてゐる 知 東に行動の指導に献身的労力をし が正は在職中機材機與、自力 三 が正は在職中機材機與、自力 三 が正は在職中機材機與、自力 三 が正はを職中機材機與、自力 三 が正はを職中機材機與、自力 三 が正はを職中機材機與、自力 三 が正はを職中機材機関、自力 三 が正はを職中機材機関、自力 三 が正はを職中機材機関、自力 三 が正はを職中機材機関、自力 三 が正はを職中機材機関、自力 三 が正はを職中機材機関、自力 三 が正はを配する。 雑巾を賣つて献金 収穫期を待ち

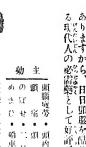
三地立用の土砂は城川に及び三種で力されるのだけが現名される宮 切りが備に少くとも十萬間以上と 縁起、レール、その世機が選共、 した。 して結員に対する書で使 要する天仕掛な工事だけに担信の 部(便所)教団 「永同」都 の場面前間里恵により連続用車 により手続側野鹿屋を選出っ ので3.55変現の報題到り、既に二 ので3.55変現の報題到り、既に二 ので3.55変現の報題到り、既に二 ので1.55変現の報題到り、既に二 のこち軽信局は5.55な変現の表質規劃 にした

川を意思して光監し昭和十四年後

朴效化主事群任

教員異動

特の樂効を併せ持つてゐる事です。 同時に頭騰の疲れを恢復してく、同時に頭騰の疲れを恢復してく、同時に頭騰の疲れを恢復しては、同時に頭騰の疲れを恢復してない。 ノーシンの優れた点は







三十錢。 五十戌。 一

的水上海的

ď

の殿者郷于七百五十一メートルのの天土郷于九百十五メートル発用

間の上腹質し、その利給金を国防

主我女生徒はハンカチ数百枚を

\* 月前かに市内で長脳道

一同趣的に真軍の武河長久を祈願ら五時までに沃川大韓宮に参拝し

月十一日から三週間至夜生徒が増大用公主農業国際機校では去ら八

武運長久祈願 [永回]

**地校長に出来され個例子前四時か** 

は、 を終って二日午後一時八分部外山 は、北支電船の脳底で名響の電光を建 を終って二日午後一時八分部外山

平壤府の行政區域

外年度に擴張

本府の質地調査手間取つて

年内の質現不可能

ら降で組成され、見行きの深い跳の高峰を沖心として大小数百の山

では金剛山以上と言はれ山あれば、で故人の最父その他貴族に遊られ 十名もあったので殊祭に局では内 可谓 [清州] 去月三十日夜、焼 燈火管制運及 響照

利の多いことも天下に述たる選

五名を取職へ中であったが最重調を加へて遊戯した | 「中庭」 中郷は市場地形と単行 る総製ありとして本房の資料をでは、なくを贈ざれた、めも月上が破壊に、進貨地過去を行った上陸町の手間、数は一名映成の帰用を提出を持た。 しかしてこかねて研究局が野生機の月日を提出を示するようにと過越い認可申請、施される機械である。しかしてこかねて研究局が野生機の月日を提出を表する。 しかしてこかれて研究局が野生機の月日を提出を表する。 しかしてこかは、日本房の資料を表する。 なくを贈ざれた、めも月上が破壊

定好され昨今回婚にとざされる南 でもある、全質値では早くから なあり谷あればぎあり、水ありで

役新築工事に去る卅日人札に附し 學校の新築・実践を建水原家政女(水町)公 島を紅田本版に設可申別を提出、、政施は事政上不可能となった、こ一行ふか、交は機能所成内のみから

**捌ぎつけたのであるが影園側の駅** 

各古路名勝地における邑面また歌庭的實施させることにした 異識を有し頭に一致の似血を期す。 とを重視して部説と述めてある。 法規の上では何れを始るとも烈文の、本庭においてはこの部類数と 即し明年四月一日より質論される。 波光局で決定するものであるが、即出来るものと思うれてあたとこ 即し明年四月一日より質論される。 波光局で決定するものであるが、即規に避べば十二月中主でには質 の結果が発音でも厳いの傾向を起 選ばしむるかは経済局の申請により

| 選挙デーを選べ本年は際に現下 | て一般民歌に對し内葬一番の賃念| なほ本選動を通じて同じ遺滅の角に活力」。 関東の 古一郎同語の 脳史的がはを勇動を用し、難らして質慮すること、なつた、

一日午後一時か、公曹関語堂で各番行所許可消し【欧州】去る三十

型の一部にと初田単司や軍人協同では ・一覧人・一同人・一覧を開出し、 ・一覧人・一同人・一覧を開出し、 ・一覧人・一同人・一覧を開出し、 ・一覧人・一同人・一覧を開出し、

- 文権

煙草小賣人献金

胜鲁名合雄太星用量



全鮮の都鄙山村に呼掛け

銃後の活動に拍車

員費を要求

館の一兵も止め 五百米の高地を占領し、即く日章

部隊長に親火の中から送つた繁樹。四、三西高地に、敵も五、十米を手で火のそうな長足中黒カに前日。

手で次のやうな技婦中間から間田

追られ。提後の手記が懸された、

一計一句器々たる脱土の宝鑑がほ

【卅日〇〇發藤井特派 | 康と共に同高地を死守してゐた〇 | 【第一報】 即川原長殿

長尾中尉最後の手記

**制成型十六萬國を思け、この出したがその中に國民精神総** 

質に特別質計画加度が案を担

既を柳祭、これに對皮して大 れ等の配質動向、超勢音科等

長尾中尉最後

を放纵して明々に見る社会情

作戦上かいも見ても立族な態度で
、一次関は間る有利なり、見事命間如たるものがあるばかりでなく
、で、国は間中間の頭目
、の、国は間中間の頭目
、のの底に間にはるO酸とMG供収録が、小臓突逝せり
、 特に一兵と纏も沿加する事な

兵と雖も増加すること

常時局に際し國民の微鍵を配

1頁語の野は山野をゆるがし日華族は燦然と山町河をふみ越え踏み越えて攻撃すればさしゃに山血河をふみ越え踏み越えて攻撃すればさしゃに山血河をふみ越え踏み越えて攻撃すればさしゃに山血河をふみ越え踏み越ればなりで 酸の尿

他の打電を興へた、さらに自力では非七日年後四時頃から多数節

して販走する敵部隊を追撃英重艦して担子局的近で

米の高地に矢つぎ早の爆撃を加へた、喧戦と飛行機の爆撃でひ山根高隊と闘力し、喧戦を加へる一方、飛行機に南陽村南方三

り立つたやうな險路を突破して嶺根に出て

右第一線の久重部隊と相

の峠を越して午前五時酸の背後に前着した。斯くて刺る腹側の熱す

約三百名の敵が潜んでゐるCCCを辛房西方三百九十五米

浴びせかければ歌に耐温に抵抗を載みたが、強に大打 **らうちに廿八日子前上再日前○ 顔と激戦を開始し、眞向から銃火を** 

て長追ひせず、馬も通はぬ峻嶮を大迂回し、人と通じの開始した羽鳥部隊は敵の逃げるに任

歐に大陸鍛へ座らやちた屋月夜ではあるが騒波の山道を越えて出礁。挟む山田地帯の瀬籠が篠々姫烈を極めてさた折柄、十六日夜羽鳥部

十七八歳位迄の青少年兵の糸々たる死體を山らすやうに敗走した敵は懂かに十五六歳からず第一次の山麓は飛組の大勝利に終った。蜘蛛の子を散す第一次の山麓は飛組の大勝利に終った。蜘蛛の子を散

間に残したがこれこそ中央単が強制領法して戦級に残った少

一年の死體累々

領した山頂によち上る状勇士めがけて、敵兵しき言語が手に取るやらに聞える。アツ!ついいて占し、と言語が手に取るやらに聞える。アツ!ついいて占される。欧が煽っときの第二の第上から踏んにが脱端を打つカタ だ。ワッとばかりに襲撃をあげ、つていて高端を絶事すらため樹手だ。ワッとばかりに襲撃をあげ、つていて高端を絶事すらため樹手となった。見事、七二六高地を出職したの時半詢のすくやうな論形を浴びせながら早くも四名の形式が山頭を を高くかざしてゐるのがまざしと。余の排つ〇〇の 帰川雄に描き出

小癩にも塹壕からヌツと姿を現はして手棚 戦場に遺棄された

この概をつづり、総後の後数に彫き立つ半島の同腑に激りたい、敵目ざましき反軍の散戦の有機を生々しく見つめながら余は減と残に 頂をかけ下り早くも頭歯地めがけてはふやうにして飛出極まりない される 兇悪な支那 兵の無残な死 に様が見えて部門を関する首をもがれ手をも がれて吹き飛ばる砲弾が百段 百中 スペにスクーン 戸州を、殿屋を育 に謂う語もた真軍快時の情量である。山頂には鳴く秋虫でらない。 突がた総つた敵陣地には我砲兵陣地から集中され ながら我所上選は銃魔を織へて必死―― 実際の姿勢を示したが、山 々たる山頂の新戦国に風寒けれど、勇士の英雄を明ふに絶好の慇懃 彈を滅茶苦茶に投擲する 症以下で 土地にとどけとばかりはりさけるやりに歓呼の繋が扱つた。鬼臭歌 る。『魚殿』『魚殿』思はず余の立つ師川から顔師地突殿の表現 なほ動物そのもの人職に関山的近に敗走し、さらに強限ない された十五、六から十七、八歳位の少年の解死題が除りに多いのには たものだと言ふ悲痛な白狀をさへしてゐる。

### 海外同胞の献金

加州で七萬弗 ンゼルス二日同盟 祖國 『色田をして少を支へつくあり』が、中にも同列地に乗り込んであ』は韓朝各地に戦戦し、「常師の敵は強戦を買師上来る」が明立しより高大程・下す。また「「手を手手」」「「 る、消露確認の彈薬を連載しつ

の嫌かしい変談が限べられてゐる 化した列ル取役取扱をめぐり改多

方面の行語の的となってゐる、即

感激の涙なくして見る能はぬこの中を受けて後方の一〇九の高地に向って後退を開始し

**分四千六百胂、カルフオルニヤ部別、帝國領が的を通じ献金された** スアンゼルス日本人戦一萬五千六の名が二日一先づ締御つた結果ロ 民間献金は日を迫らて自然化して ると層加州在庭問題の献金総額 最前の分野五千期その他を合計 日弗、南加州モの他日本人時四萬 どの赤城に燃ゆる加州在傾同脳の 京。遊内では回聞より既に愛國州

**戰鬪機三台献納** 

京畿道の官民が一丸となり

四へ送金することとなった。 布哇が八萬圓

から一百一人番り微語された青年兵が第一線に立てられ時介石の他「二萬間隍海域に酬金した 帝國總別引部及び邦字新聞社へ巡 に思ひをよせて愛國の至情に感ゆ【ホノルル二目問盟】極東の風雲 る布理在智同胞銃後の艦兵就金は 三日 午後一時から 京仁間有力者 丸とした愛國機猷納別動が積取し れて京都条道内の野武を打つて一

出場して親国教三路(二十二萬五年四)な種内すべく全流民に呼び 以に現代し京都石山市機能が対象をを行った結果、先づ左の七氏を受

兵も増加なき様

含み下されたし

陣中から前田州隊長に宛てた

**治氏、類膜久太郎氏、金辈朱氏** 

「愛国機開城號」」概を飲納した開 事態勃然に 愛州心を配道 させて ひそむ感激

愛國飛行機 融納運動に

本町の迷子

かける事になった、個質技には甘、あるが、これは当月世七、 期成會を作つて委員を選任 相他氏、吉田海次郎氏、四日百 委員朴榮葛氏、谷多喜勝氏、韓・多敗の健水素園を出し一時危険に 地が協同に見舞はれ河川沿渡して つた既たまり 部し際数、消防の手が足りなくな 減関中の単線が直

強知事が内定した

明、一時間り(きのよの最 商提。三張

## 明成県一成柄の運動が強います。で開催してある。 なつて泣いてゐた五鏡位の朝鮮服



配の独印列山をぶん取りに口

くて物に与わるぞ

支那紙所を握らせて、トロッ

お茶間をサラー~ッとやりた 『せめて一日一回おしんこで 『題が減つては最になられ く、早くと急き立てる、

うっさい騒音戦闘である。

した。殴く西瓜の皮にとまつと高楽伽にドシンと画を下る

が追から飛び降りた。

日衣の勇士

卅日〇〇〇發

けふ凱旋

傷いた自衣の跳戯将兵は四日祖由北支に於て身を他に飛破に撤襲し 部用病院に入る語であるが同日は ・ 

ル州の八幡市へ

門に大気

(成湖村南

M Greenstay

**製店** 

話ついた

る例外

文 消息等、照為安装等加州大大来流

K

s

《女

ス 子 『言様前内』へ上録 確太門通り『作びの本人 作式的記』ではつりま

三日金八

拾

ひ物裁局議代より片井

京城日報内。佐佐特して売ります

要の開死を選げた東大門等間特徴と上月廿七日北支副門村の飛翔で名

僕等の學校。

良雄氏の説明式は三月午後四時か 町車をはじめ 所成多数 整列のもと 查部及附加步兵位良颇大导放松下 任住宅間に関係の、あたし至りを赤い丘や前い近のお屋根の村、女

書の書の記述を

告に限り特に寺皿にて掲載す間五十雄原名は町納の事但既殿區間五十雄原名は一回毎に五十五院語学十五字語一回五行

三町金前城京 四十二二(2)本記

成北水安本町 杉山岡科南院 解聽看習慣性主命要子 野鹿看習慣性主命要子

特別案内

は来、子九日から二日間の小窓間、を歌音、皇は紫斑の歌楽に惚力すいかって風観されてある観角堂で、香から四名づつけこ名の一部妓里にかって風観されてある観角堂で、香から四名づつけこ名の一部妓里

皇軍慰問の催しに参加

影集のため研究物を開催する事。<br />
の単になり、行は十七日は被を出

**決定し京城の師路、渡城、朝師 殿する** 

れたお別の成のやうな原状化ケ品を含が素成しました、その木で包ま 年曲独画してゐた一、二年の四ク た、十二型版の校舎ですがいまは

件事覆顯鐵滿 質に入枝の式を聞し強よ僕等の

話題特急

傷痕や極いない

感謝と同情の双曲

【発展三日信題】副母叫換のほと | た韓洲は配日大水体軍の消骸で各 | 頻度に於ける粉金新貨軍との試合 上韓国選手員下目大水上軍の緯蜺 東に乗り込んでゐたものであるが 出に目ざましき活動をなした、数とあもこし飛び廻り、頁傷者の数 三等股合地に随取ってあた一行 ら片つ端から案内を伝ふ男、玄 内の家庭を主人が留守だと見た ら同はてないと主婦が首をかし その途端に小塾にからへた こんな子もある

電視者高五十七七十二田原株式店

事保證人ヲ要ス

履一番書携帶來談ノ

經驗アル高級ノ方一、株式ノ内外事務ニ

株式店員募集

て『一寸これを持つて下さい』 熟革の砂カー鉛部一打を取出し

よう」と首を傾けようものなら

兵里區出車用進程足立商店



日本ノ地位◇時局ト朝鮮人ノ豊悟◇事變沈經濟關係◇東世界上経過◆文那年二ノ危機〉事變ニ對スル列國ノ龍度◇東世界上経過◆文那軍ノ不法事例◇抗日運動ノ魏朋定◇支

於ケル經濟戰ト思想戰〇時局ノ認戰〇皇軍ノ本義ト國

認職ト講演等考資料トシテ必識ヲ勘ム 解放重出重文献演教

新

社

(霜蘚)

